

～ Serving the *Community* and Supporting the *YMCA* since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ : *Cleaning the world: Week 4 Waste*

2025
4月



2024-25 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

江戸城ウォーク
4月5日

米国はトランプ竜巻がどちらに向かうのか予測不可能。1929の再来か？日本は米価高の中、大阪万博が開幕。メタンガスと太陽に挟まれ、炎天下に並んで世界と地球の近未来を実地で学べる。熱中症対策を怠りなく。民族や国益を超えて共生を訴え続けたフランシスコ教皇が亡くなった。で、埼玉クラブ。4月例会は半数が女性！翁ども彼女らのジェンダー議論を傾聴。（3ページ）



[写真メモ] 埼玉クラブが所属する関東東部が企画した江戸城ウォーク：東京駅丸内北口～永代通り（道三堀跡）～大手門～大手三の門（下馬門）～同心番所～百人番所～ 中の門～大番所～中雀門～富士見櫓～松の大廊下跡～本丸大芝生～江戸城天守復元模型～大奥跡～天守台～北桔橋門（きたはねばし）～竹橋駅
※ 天守台にて記念撮影・解散、自由行動
埼玉クラブから上松メン、衣笠メンが参加。
＊地図と経路はチラシから転載させていただきました。

今月の聖句

「先のことに心を留めるな。昔のことに目を留めるな。見よ、わたしは新しいことを行ふ。今それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」
(イザヤ書 43:18-19)

5月「さつき鯉」例会

日時：5月19日（月）10:00～12:00
会場：市民活動サポセン（パルコ9階）
プログラム：次年度に向けて



5月 夜談会

日時：5月12日（月）午後6時～8時
会場：サイゼリア（浦和駅東口）

▽ 気楽に知り合い、笑いながら見識を深めるさばけた市民の出会いと集いの場（覗いてください）

◆❖◆❖◆エッセイズ◆❖◆❖◆

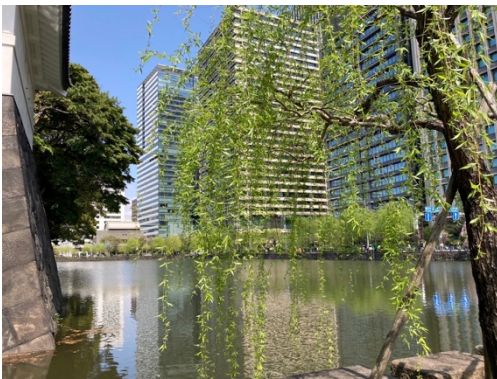
江戸城ウォークに誘われて

勝田 のぞみ



4月5日（土）娘を誘ってワイズメンズクラブが企画した「江戸城ウォーク」に参加しました。江戸城と言いましたが、正式には「皇居東御苑」を散策するプログラムとのことでした。

実は出だしを失敗！10時までに集合場所にたどり着けず焦りました。でもさすがワイズメンズクラブの企画、ちゃんとフォローしてくださり、少し遅れてでしたが、一行に合流できました。知らない顔が多かったですが、皆さん和気藹々と楽しそうに、自然と仲間入りできました。初めて皇居の中を回りましたが、とても広いのにびっくりしました。ていねいな解説をして頂き、また参加者の年代も幅広く、ウォークも程よいペースで疲



れることなく、最後まで和やかでした。運良くちょうど桜の季節で、天気もよく、二時間半の楽しいひと時を皆さん

と一緒に過ごすことが出来ました。一昨年の秋、同じくワイズメンの企画で神田川を船で降りましたが、今回で二度目の東京を学ぶ散策に参加することとなり、とても良かったです。ワイズメンの皆さんが実はボランティアで協力して企画したことを知りました。本当にありがとうございました。❖



写真上：百人番所

写真中：大手門を出てすぐお堀から見た景色

春の見沼田んぼと皇居東御苑散策

上松寛茂



3月23日（日）の昼下がり、Y's 埼玉クラブの浅羽会長の呼び掛けで見沼田んぼを散策した。ワイズの枠を超え、あえて他人同士と一緒に自然を味わいながら繋がれることを体験するのが目的という NOMPO（のんびり散歩）と称する浅羽的発想が根底にあり、昨年11月17日の別所沼公園の散策の集いに続くもので、子どもを含む10数人が参加した。

さいたま新都心の高層ビルを背景にした田園の原風景がここにあった。見沼田んぼは、江戸時代に開発された約1200畧の水田地帯。伝統農法による水の循環を学ぶ市民活動「水のフォーラム」で活動が続いている一人が浅羽メンで、そこで知り合った仲間が埼玉ワイズ新会員の高岡敏夫メン。ワイズメンバー広がり証しがここにあった。

春の優しい日差しを浴びて田んぼの土のあぜ道を歩くのは心地良い。浅羽メンらがコメ作りを共にする田んぼを横目に、様々な花が咲くお花畑を通り過ぎ、芝川に沿って歩く。芝川は桶川市が水源で荒川に注ぐ大宮台地の水田の命綱。地元紙に連載したコラムの取材で、芝川の重要さを再認識したものだった。



一方、4月5日（土）には、Y's 関東東部 EMC 企画「皇居東御苑・大名登場ルートを歩いてみよう」に参加した。埼玉クラブからは衣笠輝夫メンに小生、そして浅羽メネットの従姉妹母娘が参加。計26人。東京東クラブの金丸メンらの案内で、大手門から皇居東御苑に入った。桜の季節とあって入場客で大混雑。皇居のシンボルともいえる伏見櫓や忠臣蔵で有名な松の大廊下跡などを散策、本丸大芝生、江戸城本丸御殿跡の桜のお花見をして集合写真を撮影。解散となった。石垣だけが残る天守台や江戸城天守復元模型なども見物。解散後は、坂下門まで戻り、ちょうど皇居内乾門までの通り抜けの桜見物の行事に遭遇。通り抜けの列に並んだ。

ワイズ存続の危機ともいえる中で、各クラブ連結の行事は起死回生の目玉となり得るとみた。❖

◆ YMCA リサイクル事業に挑戦



先日、カメルーン YMCA のユース・ボランティアが集まり、リサイクル工場プロジェクトのタイムライン、構造、活動内容の計画を話し合った。会議では、若者が各段階の策定と実施にどのように関与していくかなど、プロジェクトの主要な詳細について焦点が当てられた。

YMCA リサイクル活動は、若者に持続可能な廃棄物管理に関するスキルとリーダーシップの機会を提供し、環境保護とそれに寄与する雇用創出の両方に貢献することを目指している。

このプロジェクトは、欧州連合（EU）と 6 大ユース団体がグローバル・ユース・モビライゼーションを通じて共同で設立した「ユース・エンパワーメント・ファンド」の一環である。

◆ 世界 YMCA、教皇の死を悼む



フランシスコ教皇とブラジルのリオグランデ・ド・スル YMCA の一行（2024 年 4 月バチカンにて）

* 以下は世界同盟から届いたメッセージです。

「世界中の YMCA はフランシスコ教皇の逝去を悼みます。私たちは教皇の類まれなリーダーシップ、YMCA が目指す価値観の模範であられたことに、神に感謝します。教皇は世界中のあらゆる信仰を持

つ人々、信仰を持たない人々を温かく受け入れ、若者、貧しい人々、疎外された人々を愛しました。

紛争下において平和を訴え、移民を擁護し、「無関心のグローバル化」に抗議し、「私に人を裁く資格があるか？」という言葉を残しました。

ちょうど 1 年前、教皇は YMCA のチェンジ・エージェントとリオグランデ・ド・スル YMCA の一行を迎えられたことを思い出します。

YMCA は「包摂の擁護者」たるこの偉大な一人の人間の死を悼むすべての人々と共にあります。

世界 YMCA 同盟

会長 ソヘイラ・ハイエク

総主事 カルロス・サンヴィー」

* 以上 2 つの記事は世界 YMCA 同盟 4 月の通信からグーグル翻訳/抄訳/意識したものです。（文責 浅羽）

活動・会議メモ

◆ 4 月「夜談会」

今月 14 日の晩、浦和駅東口「サイゼリア」にて集会。11 名が参加。2 卓に分かれて話し合った。喜楽を売りにしていて、座った人たちが自然と話すのに任せていたが、出席者の要望で今回から最初に自己紹介で始め、一人ひとりの感想で締めくくことにした。テーブルによってはパレスチナの話から、教育談義。何とイバン・イリイチの名前まで飛び出した。実に充実した時間だった。毎回注文の段で若いウェイトレス・ウェイターとの間で色々やり取りがある。相手は面倒だと思おうが、こちらは生身の人間とのやり取りがかえって嬉しいくらいだ。いずれ AI ロボットに代わるのだろうか。（浅羽 記）



浅香・浅羽 S・浅羽 M・伊藤・于・上松・大輪・衣笠・高岡・長谷川（初参加）・宮原（アイウ順）

◆ 4 月「タリフ」例会

4 月 21 日朝 10 時から、市民活動サポートセンターで例会を開催。今回も小声で「いざ立て」を歌い、聖句・祈りで開会。11 回目のジェンダー学習は 12

名がテーブルを囲み、一人Zoom参加。実に6名が女性だった。存在感溢れるゲスト、ビジターは活発な議論。それを静かに聴き入る翁たちと好対照。進行係が強引にストップをかけなければ、閉会時間を過ぎてても話は延々と続いたであろう。大きなテーマの中を色んな小テーマが飛び出した。ガールスカウト、戊辰戦争、YWCA、役所の差別、児童擁護、日本の性教育、母親の意義、中国の離婚現象など。翁たちのもっともな意見も現場・経験に基づく鋭い発言には何となく色あせていた。



中身の濃い話し合いからそれぞれ何かを得たと思う。「タリフ（関税）」例会は滞りなく終わった。今回もサポセンター職員が写真撮ってくれた。（浅羽 記）
 [ゲスト] 薄井、劉、佐久間 [ビジター] 澁谷夫妻、小仁、森下 [メンバー] 水無瀬(zoom)、上松、衣笠、伊藤、浅羽
 13名（姓のみ、性と敬称略）



◆ 4月の俳句 塀和光二郎メン（俳号 愚道）

トイレから見える桜は俺のもの

トイレに入って窓から桜が見えました。
 私ひとりで観る私だけのさくらでした。



ほおっぷりしたる写真の潮干狩り

子供の頃行った潮干狩り、歳を取った今となっては行くことはできませんが、ほおっぷりをした写真が思い出させてくれます。

植替えがやっと手に着く四月かな

寒いときはとてもやる気にならないのに、土も水も暖かくなりようやく植替えができました。

◆ 三浦雄二メン（休会中）

久しぶりに三浦メンに電話するとすぐ出た。

「体調が大分良くなって、3月から民間団体の学童保育活動に携わっています。週3回中高生相手に午後3時から5時半まで一緒に学習したり遊んだり、おやつを食べたり。2班あって、それぞれ13名を5人前後のスタッフが見えています。知らない福祉系の

仕事だけど、社会奉仕に挑戦してみようと始めました。仲間は大体同じ世代が多いかな。皆が帰った後、手分けしていくつかの部屋を消毒しますが、これはコロナ禍後感染症予防で始めたそうで、1時間はいかかるのでスタッフの退出は午後6時半過ぎだな。でもやりがいがあるね。2ヶ月続けてきて感じるんだけど、親御さんの苦労を思わずにはいられないね」

◆ 浅羽俊一郎メン

今月26日（土）に駿河台の東京YWCAで開催された全国学生YMCA（学Y）リユニオン2025に出席。5年ぶりだ。私自身学Yではないが応援団として繋がっている。今回新しく知り合った女性シニアにクラブでジェンダーを学習していると伝えたら大いに褒められた。どんなYも出会いがある。



今後の予定

- ・5月17日（土）：第2回関東東部 評議会
会場：東京YMCA 東陽町センター
- ・5月27日（火）午後7時半～
オンライン学習「ワイズとジェンダー」
- ・6月7日（土）：第28回東日本区大会
会場：宇都宮市 ライトキューブ宇都宮

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会 (04/14)	11	5	6
月例会 (04/21)	13	6	7



ワイズメンズクラブ 案内

ワイズメンズクラブ国際協会（Y's Men International）は世界的な社会教育団体 YMCA を支える社会人クラブの国際的な繋がり。若者と地域への奉仕と、国内外の交流を進めています。肩書き・性別・政治・宗教・年齢差を問わず、皆が対等。ボランティア活動はしたいけれど、最初の一歩が踏み出せないという方、ワイズからスタートしませんか。随時募集しています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動してきて、再来年50周年です。まずは月例会をのぞいてワイズの雰囲気を知ってください。年会費4万円ですが、正式入会せずにゲストで参加し皆と対等に活動できます。

* 詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553)